



# 哲學字彙 訳語総索引

飛田良文編

笠間索引叢刊 72



## 目 次

凡 例 .....	(3)
本 文 .....	(7)
索 引 .....	133
『哲學字彙』について.....	223
1. はじめに	
2. 編者	
3. 成立	
4. 諸版	
あとがき .....	239



## 凡 例

### 1. 索引の内容

この索引は英和对訳辞典である『哲學字彙 (DICTIONARY OF PHILOSOPHY)』明治十四年刊・東京大學三學部印行のすべての訳語を検索できるようにしたものである。

### 2. 本文の底本

本文の底本には松村明東京大学名誉教授の所蔵本を使用した。底本の覆刻は原寸大とした。なお、底本の松村本は、表紙と扉、正誤表と裏表紙の間の遊び紙各一枚が欠けている。

### 3. 索引の構成

索引の構成は、①見出し ②訳語 ③原語 ④所在（ページ）からなる。

① 見出しは、現代かなづかいで、五十音順に配列した。和語・漢語はひらがな表記、外国語・外来語はカタカナ表記とした。

② 訳語は原本の漢字表記のままであるが、明らかな誤植は正した。

(例) 愕胎→愕胎 (Wonder), 輪迴→輪廻 (Metempsychosis)

なお、訳語には専門分野の註記を加えたものがある。これはそのまま付記した。その註記は次の通りである。

(倫) 倫理學	(心) 心理學
(論) 論法	(世) 世態學
(生) 生物學	(數) 數學
(物) 物理學	(財) 理財學
(宗) 宗教	(法) 法理學

(4) 凡 例

(政) 政理學

③原語は、大部分が英語であるが、ラテン語・ドイツ語なども含まれている。表記は原本のままであるが、イタリック体は特に区別しなかった。また、明らかな誤植は正した。

(例) Wissenschaftstehre→Wissenschaftstehre (智識論), Fetichism→Fetishism (拜物教), Low of Diffusion→Law of Diffusion (蔓衍法)

④所在 (ページ) は、原本のページ数を示す。

#### 4. 見出しの立て方

訳語は漢字で表記されているので、見出しの読み方を決定するにあたり、次のような手続きをとった。

① 『日本国語大辞典』(日本大辞典刊行会編・小学館), 『大漢和辞典』(諸橋轍次著・大修館書店)に、その漢字表記のみられるものは、その読み方を見出しとした。また、『大辞典』(平凡社)などの国語辞典, 『大字典』(上田万年ほか・講談社)などの漢和辞典のほか, 『和英語林集成』(J. C. ヘボン編・初版・再版・3版), 『英和对訳袖珍辞書』(堀達之助編・文久2年江戸開板), 『和訳英辞書』(薩摩学生・明治2年), 『<sup>附音</sup>英和字彙』(柴田昌吉・子安峻・明治6年)などの幕末明治初期の和英・英和辞典類を参照した。そして、二通り以上の読み方がある場合は、

a) 漢語の場合、検索の便を考えて、今日的な読み方を本見出しとし、他をカラ見出しとした。

(例) 有情→ゆうじょう〈本見出し〉, うじょう〈カラ見出し〉, 呵責→かしやく〈本見出し〉, かせき〈カラ見出し〉, 快樂→かいらく〈本見出し〉, けらく〈カラ見出し〉

b) 和語と漢語との読み方が考えられる場合は、原則として和語を本見出しとし、漢語をカラ見出しとした。

(例) 國→くに〈本見出し〉, こく〈カラ見出し〉, 夢→ゆめ〈本見出し〉,

む〈カラ見出し〉

c) 外国語の音訳字は、その漢字表記が慣用として固定しているもの（猶太→ユダヤ、基督→キリスト、加特力→カトリック、など）を除き、原則として、原本巻末にある付録「清国音符」に従って読み、これを本見出しとした。人名など今日の読み方と相違の著るしいものは今日の一般的読み方をカラ見出しとして立てた。

(例) 加爾多教派 (Cartesianism)→キャルトきょうは〈本見出し〉, デカルトきょうは〈カラ見出し〉, 布拉多學派→プラトがくは〈本見出し〉, プラトンがくは〈カラ見出し〉

㊦ 訳語の典拠の見あたらないものは、漢音読みとすることを原則とした。

(例) 下題 (Data)→かだい, 習成 (Factitious)→しゅうせい, 成來 (Descent)→せいらい, 脫礙 (Unconditioned)→だつがい, 重關 (Palilogy)→ちょうかん, 定知 (Certainty)→ていち, 剔醒 (Suggestion)→てきせい。

飛田良文(ひだ よしふみ)

千葉県に生まれる  
昭和32年 東北大学文学部国語学科卒業  
昭和34年 東北大学大学院文学研究科修士課程修了  
昭和38年 東北大学大学院文学研究科博士課程単位習得  
現在 国立国語研究所言語変化研究部第二研究室長・国語辞典編集準備副主幹、共立女子大学文学部講師  
著書論文 ことばの倫理(ことばの生活3) 筑摩書房〈編〉  
日本語の歴史(新日本語講座4) 汐文社〈編〉  
当用漢字表記辞典 桜楓社〈共編〉  
安愚楽鍋用語索引 国立国語研究所〈共編〉  
訳語研究の視点(『国語学』115集 昭和53年12月)

哲学字彙 訳語総索引

●笠間索引叢刊 72

昭和54年10月15日 初版発行

¥ 6,000

検 印  
省 略

編 者 飛田良文◎

発行者 池田猛雄

発行所 有限会社笠間書院

〒101 東京都千代田区神田神保町 1-46

☎ 03-295-1331(代) 振替東京 1-56002

3381-852072-0924

小田製版印刷・手塚製本所